

8月6日(水)発行

ほほ

日刊サマーミュージアム



Hobo Nikkan Summer Muza

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL



オケも聴衆もとりこにする 魅惑のマエストラに喝采!

8/5 昭和音楽大学

©平沼平

近年オペラ指揮者として進境著しい田中祐子が、パリで学んだ本領を發揮するプログラム。1曲目、モーツァルトの交響曲第31番「パリ」でハッとさせられた。指揮棒を持たず、拍を刻むことにとらわれすぎない、しなやかな身振りから導き出される音楽の爽やかなこと。この夏一番の酷暑の中、集まってきたたくさんの聴衆にとって、いきなりの涼しいご褒美である。たとえば第1楽章では、ある部分でグッと前に出るようなメリハリの感じられる箇所がある。そうすると俄然、音楽に生気が満ちる。

2曲目のドビュッシーの交響詩「海」は、冒頭の「夜明け」を示す暗く静かな響きからし



て、別の世界に連れ去られる。しかし全体のテンポはやや速めに設定され、音楽の流れはきびきびと快活。何よりも海の音楽らしいうねりがあってよかった。第3楽章「風と海の対話」も、冒頭の低弦の速いパッセージから華やかなクライマックスまで、ただごとでない緊迫感に貫かれた、強い説得力を持つ演奏。

後半は今年が生誕150年のラヴェル。「ダフニスとクロエ」第2組曲ではフルートをはじめとした個人技も冴え、やはり速めのテンポで昭和音大のオケも高い技術と集中力、底力を見せてくれた。「ボレロ」の各ソロも巧くて味があり、楽器間のバランスも良く、じわじわと熱狂の度を高めていく過程は見事だった。それにしても田中の指揮は、若いオケを謙虚に誠実に、優しく強く、導いていく様子が素晴らしく、見惚れてしまった人もきっといることだろう。

(音楽ジャーナリスト・評論家 林田直樹)

【お詫びと訂正】昨日の「[ほほ]日刊サマーミュージアム新聞」印刷版レビューにて1か所誤りがございました。申し訳ありません。
【正】松本宗利音 【誤】松本宗利人
関係各位並びに読者の皆さまにご迷惑をお掛けしましたこととお詫びし、ここに訂正させていただきます。(編集部)

フェスタサマーミュージアム KAWASAKI 25 明日の公演情報

九州交響楽団 熱狂のシンフォニック★ナイト

8/7 (木) 19:00開演 (プレトーク18:20~)

指揮：太田 弦 (九州交響楽団 首席指揮者) ソプラノ：高野百合絵 *

- 小出稚子：博多ラブソディ
- ピゼー：歌劇『カルメン』から *
第1幕への前奏曲 - ハバネラ - セギディーリヤ
第2幕への間奏曲 (アルカラの竜騎兵) - ジブシーの歌
- ショスタコーヴィチ：交響曲第5番

S席 6,000円
A席 5,000円
B席 4,000円
U25 各席種半額

TEL・WEB 予約 当日 17:00 まで
当日券カウンター 18:00 より



指揮：太田 弦



ソプラノ：高野百合絵



指揮：田中祐子(右) コンサートマスター：大田春菜(左)

ご来場者の声

後半に行くほど熱量を帯び、爆演的な盛り上がりで非常に清々しい演奏会でした。またこのコンビで聴きたいです。(40代・会社員・tacosamba) / 田中祐子&昭和音大の最高だった演奏からは「純粋に迷いなく突き進む」という気持ちの音を強く感じましたね。プレイヤーの皆様にとって今回の経験が今後の課題も含めた「学び」のための大きな力になると信じて、こちらにも「活力」を与えてくださって深くお礼を言いたいですね。(40代・ドラムプレイヤー・らむ〜ど) / 「ふらんすへ行きたくとも思えどもふらんすはあまりに速し。せめては昭和音大オケを聴きにフェスタサマーミュージアムへの旅にいでてみる。」(萩原朔太郎風ですが) 来てよかった！田中祐子マエストラの魔法の指先がフランスの風を会場内いっばいに呼び込んでくれました。今年最高の旅になりました。(70代・無職・ストーン) / 「ボレロ」は何度も生演奏で聴いていますが、今日ほど奏者(特にソロで吹く管楽器)を応援しながら聴いたことはありませんでした。特に最初のスネアドラムには心の中で「しっかりと」と念じながら聴きました。やり切りました！マエストラが、いっばい彼を立たせたのも納得です。昭和音大は今年で3回目ですが、これからも楽しみな公演です。(60代・ころわん)

オリジナルグッズ 好評発売中



A4 クリアファイル
税込 ¥330 (税別 ¥300)



数量限定!!
サマーミュージアム扇子
税込 ¥1,980 (税別 ¥1,800)

ホール内ショップ
ホール2F ホワイエ (期間限定) 他
にてお取扱い中



ピアノ × オーケストラが生み出す、宇宙と天国

休日の午前にミュウザで音楽を楽しむことができる人気企画「モーツァルト・マチネ」。

通常2時間がデフォルトのオーケストラ公演ですが、このシリーズでは約70分で休憩なし！選曲は、聴きなじみのある「モーツァルト」を中心に、それぞれマエストロの趣向を凝らしたプログラムでご好評をいただいています。

このシリーズに定期的に出演いただいている、ピアニスト小菅優さんの弾き振り。小菅さんの為に作曲された「インパルス」は、技巧的にピアノとオーケストラが絡み合い、幻想的な音楽に吸い込まれるような不思議な魅力のある作品。ホールにどのような宇宙空間が広がる

のか、私も今からわくわくしています！

モーツァルト後期の傑作「ピアノ協奏曲第25番」は壮大で華やかな作品で、どこかベートーヴェンのような快活さも感じられます。

今回のテーマである[宇宙(=藤倉作品)]から[天国(=モーツァルト)]への調べ、そして小菅さんと東響のメンバーとの息の合ったアンサンブルを、どうぞご期待ください！(事業企画課・じ)



モーツァルト・マチネ 第50回より



ピアノ&指揮:小菅 優



管弦楽:東京交響楽団

モーツァルト・マチネ 第63回

2025. **11.29(土)** 11:00開演

ピアノ&指揮:小菅 優
管弦楽:東京交響楽団

藤倉大:ピアノ協奏曲 第3番「インパルス」

(アンサンブル版/長谷川綾子、神戸市室内管弦楽団 共同委嘱作品)

モーツァルト:ピアノ協奏曲 第25番 八長調 K. 503

一般 ¥4,000

U25(小学生~25歳) ¥1,500

浴衣 de SUMMER MUZA!

浴衣でご来場の方へ、千社札風のオリジナルステッカーをプレゼント!
(甚平などもOK♪)

[期間限定]
ホール内主催者受付
までお申し出下さい。



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



白い辛麺(3辛)
(税込1,160円)

誰でもウェルカムな辛麺屋

辛いもので暑さを乗り切りたい! ラゾーナ川崎4階にある「辛麺屋 桝元」は、どのメニューも辛さだけでなく味の深みがあります。0~30辛が選べるので、辛いものが好きな人も苦手な人も楽しめますよ! 特に「白い辛麺」は唐辛子が別添えなので、豆乳スープをそのまま味わってから唐辛子を入れて味変ができます。豆乳好きな私は唐辛子抜きでも満足でしたが、唐辛子を入れるとコクが増してまた違う美味しさでした。

麺はヘルシーなこんにやく麺! にんにくの量やトッピングの自由度も高く、卵・そばアレル

ギーにも対応しています。仕切り付きのカウンター席から小上がり席まであり、1人でも家族連れでも、みんなが居心地良く過ごせるお店です。
(経営管理課・熱中症には気を付けて)

辛麺屋 桝元 B ラゾーナ川崎プラザ 4F

🎁 パートナーショップ特典

飲食代 10% 引き

※「優待ラシ」持参者および同伴者
※営業時間内は終日可



フェスタサマーミュージアム公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージアム
で検索&投稿
お待ちしております!



X: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki
YouTube: @kawasakisymhall

に……と思う今日この頃です。
(事業企画課 I)

スタッフ日誌